

事前評価書

1 事業名 経営体育成基盤整備事業	地区名・路線名等 中田地区
2 事業概要	
(1) 位置	豊田市
(2) 規模・内容	区画整理 39ha (内訳：整地工 39ha、道路 8 km、用水路 7 km、排水路 7 km)
(3) 事業期間	平成 22 年度～平成 27 年度
(4) 事業費	1,060 百万円
3 必要性	
<p>本地区の農業基盤は、ほ場整備事業等による一次整備が約 30 年前に行われた水田区域と畑作を主体とした未整備区域に分けることができるが、いずれの区域も区画は小さく、農道も狭小であり、用排水路の老朽化も進み、効率的な営農が行えない状態となっている。</p> <p>農業総生産の増大等農地の高度利用を図るため、本事業によりほ場を大区画化するとともに、農道、用排水路の更新整備を行い、水田を汎用化するなど条件不利を解消することで担い手農家への農地の利用集積を進める必要がある。</p>	
4 事業効果	
(1) 評価期間	46 年
(2) 基準年度	平成 21 年度
(3) 基準年における総費用 (C)	1,324,315 千円
(4) 基準年における総便益 (B)	1,870,429 千円
(5) 便益の内訳	作物生産効果、営農経費節減効果、維持管理費節減効果、耕作放棄地防止効果、地籍確定効果、非農用地等創設効果
(6) 費用対効果 (B/C)	1.41
(7) その他	特になし
5 事業をめぐる社会情勢	
<p>豊田市全体の耕地面積は、全体的に減少しているが、作付面積では麦が増加しており、転作作物における土地利用率の向上が見られる。</p> <p>また、産業別人口では第 1 次産業が減少し、第 2 次産業、第 3 次産業は増加しているものの、ほ場の大区画化などの基盤整備が完了した地域を中心に、農事組合法人や担い手農家への土地利用集積が進み、認定農業者数も増加傾向にある。</p>	
6 その他特記事項	
特になし	